

論文審査の要旨

報告番号	甲第 3112 号	氏名	市村 菜奈
論文審査担当者	主査 内田 直樹 教授 副査 小風 暁 教授 副査 吉田 仁 教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>病棟における看護師と薬剤師の連携・協働の課題を明らかにするために、昭和大学附属病院の看護師および薬剤師を対象にアンケート調査を実施した。</p> <p>アンケートは情報共有の内容や方法、薬剤に関する業務内容など全 22 項目とした。</p> <p>看護師 271 名、薬剤師 87 名から回答を得た。「日常的に」連携をとれていると回答した看護師は 30%、薬剤師は 72%であり、情報共有を「十分と感じる」看護師は 19%、薬剤師は 11%であった。薬剤管理指導記録を「知っている」看護師は 58%であり、これを「常に」または「必要時に」活用する看護師は 41%であった。得たい情報として看護師は薬剤師指導内容や薬剤に関する情報、薬剤師は患者の家族など患者の背景に関する情報が多かったが、これらの情報が必ずしも得られていなかった。</p> <p>これらのことから、看護師と薬剤師が相互に求めている情報の共有や薬剤管理指導記録の活用が不十分であることが示された。互いのニーズを理解した上で、情報共有の方法や内容などを工夫することで、望ましい連携と質の高い医療提供ができると思われる。</p> <p>以上より、本論文は病棟でのチーム医療を促進するための新しい知見を示しており、学術上価値があるものと判断した。</p> <p>論文題名： 病棟看護師と病棟薬剤師の薬剤管理と連携に関する調査研究 掲載雑誌名 昭和学会雑誌第 80 巻第 2 号(2020 年) 掲載予定</p>			

(主査が記載、500字以内)